

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年4月30日

団体名 ひきこもりを考える会 ゲートキーパー「おじぎ草」

代表者 大庭 和子

構成員 7人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

ひきこもりの状態で悩んでいる方やご家族、関係者の方に寄り添い、実際に通して孤立や孤独を防ぎ、各々の人生をどのように充実させていくかを共に考えることを目的とします。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
毎月第3金曜日	岡崎市 社会福祉センター	家族	46人	不登校やひきこもりの家族のいそぎの集いの場。情報を届ける場の開催。
毎月第4金曜日	岡崎市役所 伊館	ひきこもり等でお悩みの方	27人	ひきこもり等で生き辛さを感じている方への集い交流で居る場の開催。
毎月国K日曜日	旧居酒屋 さつ	生き辛さを感じている方	213人	生き辛さを感じている方への交流の場。
4/19	岡崎市地域交流 センター むらさきヤン	市民	市民	むらさきヤン主催の「市民活動博覧会2025」での孤立、孤立対策強御間のポスター展示

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

新たに始めた火曜日の事業で、安心に過ごせる場や岡崎市にまで広げる周知の場ができた。相談者や参加者が来やすくなった。安心に相談していただく。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

ひきこもり状態にいる方の居場所と火曜日の開催で新たに始めたことで、来場者や相談者が定数に達しやすくなった。又、就労につなげるお手伝いもできていることに思っています。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。